

「ものづくりクリエイト」で異業種交流会

10月25日まちなかキャンパスで開催された第一回ものづくりクリエイト。越後与板打刃物匠会員からも多数参加し、小国和紙や中越鋳物組合と共に、各団体の事例発表に耳を傾け、アドバイザーである都美術館の川越さんからのご提言に聴き入りました。与板打刃物の現状と取り組みについて、匠会久住会長の発表のあと、川越さんからは三つの提言が出されました。それは、



男性が使う道具としての常識をあえて取り払い、DIY女子(自分で大工仕事もやりたいモノづくり女子)をターゲットにした製品開発やイベントができないか。アジアでの木造建築保存や修復事業に与板の大工道具をアピールできないか。現在も道具を使っている土地や業種へのさらなる売り込みを強化できないか。原点に帰り、与板の独自色を色濃く出す方向性が示されました。今後の一步につながる提言として受けとめたいと思います。

かじやの祭典「ふいごまつり」

11月4日は都野神社境内で恒例の「ふいごまつり」が開かれました。今年も伝統の古式鍛錬儀式を見ようと、メディアも多数

おとずれ熱心にカメラを向けていました。市の広報番組の取材も重なり、雨模様の天候にもかかわらず人垣ができるほど。



その中でも、東京からわざわざこの日のためにやってきたこの男の子。上野での鍛

冶体験が忘れられなくて、支所に問い合わせしておじいちゃんおばあちゃんと一緒に来場。一心にナイフを造る姿が何とも頼もしいですね。皆に元気を与えてくれました。



匠会通販サイト スタートして2ヶ月

新聞にも取り上げられ話題となった匠会の通販サイト。ベルソフトさんのおかげですばらしいHPが立ち上がり、問い合わせも増えています。すでに商品の発送も始まっていて、これを機に私たちの製品づくりの協力体制も、今後の検討事項に加えていく必要があるように思います。